

令和6年度

第1回 豊見城市地域公共交通協議会

【豊見城市自動運転バスの実証運行について】

令和6年9月4日
豊見城市 都市計画課

4-1. 地域公共交通確保維持改善事業費補助金について

(1) 自動運転社会実装推進事業の公募開始について

- 地域づくりの一環として行うバスサービス等の自動運転化に伴う経費に対して、地方公共団体・民間団体等が、その費用を負担を軽減するため当該経費の一部を助成する事業に要する経費を補助

① 概要

(1) 事業主体

- 将来的にレベル4自動運転技術を提供することがみこまれる事業者が参画
- 将来的な時速可能性を踏まえた計画を策定
- 地域公共交通等に留意した取組みを実施する等の要件

(2) 公募受付期間

- 令和6年4月5日（金）～
令和6年5月7日（火）

(3) 補助対象経費

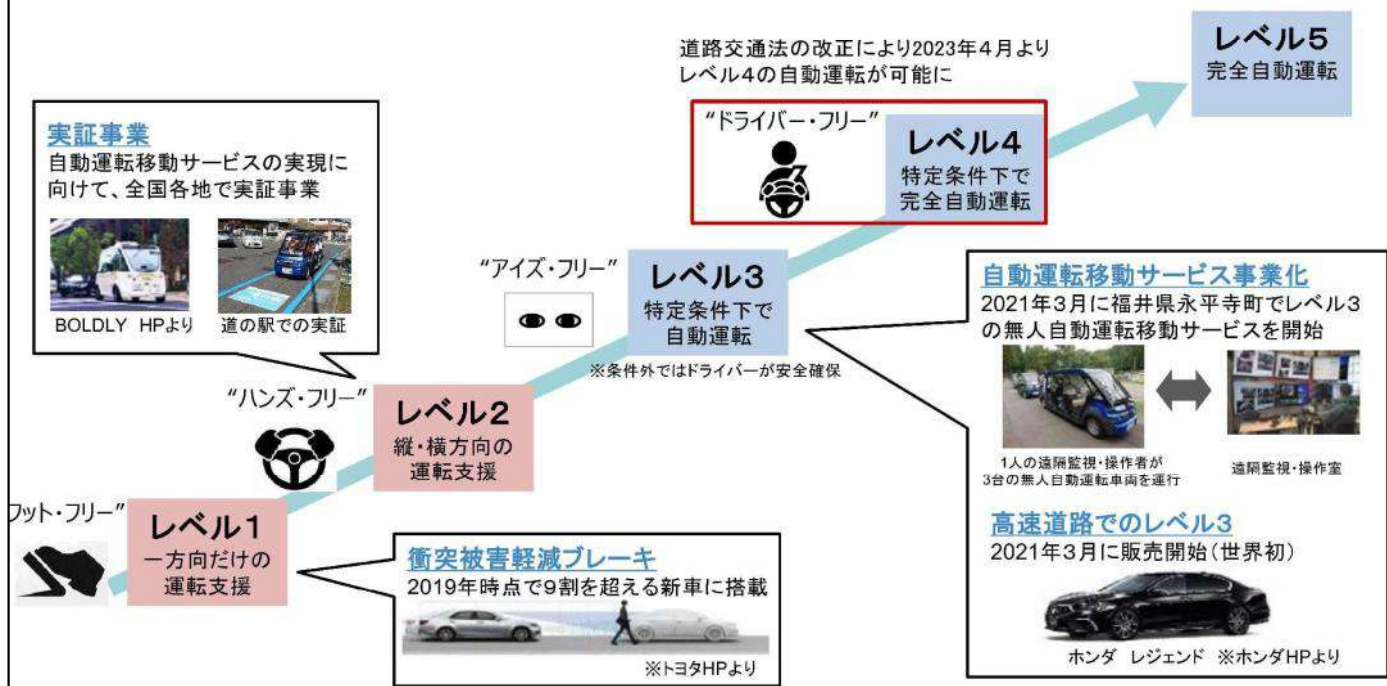
- 自動運転システムの開発、それに伴う車両改造、リスクアセスメント調査 等

② 運転技術の現状と目標

○ 世界で初めてレベル3を実現するなど着実に技術が進展。今後は、レベル4の実現、普及拡大が目標。

【政府目標】2022年度目途 レベル4移動サービスの実現 ⇒ 2025年目途 全国50か所に拡大

2025年目途 高速道路レベル4の実現



参照：国土交通省HP

4-1. 地域公共交通確保維持改善事業費補助金について

(2) 自動運転社会実装推進事業の公募結果について

- 自動運転社会実装推進事業への申請の結果、本市の実証運行計画が対象事業として選定

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和6年7月5日
物流・自動車局
技術・環境政策課

**地域公共交通確保維持改善事業費補助金
(自動運転社会実装推進事業)の公募結果について**

自動運転は、人手不足など地域公共交通が直面する課題に対応する手段の一つとして期待されています。その実現に向けて、国土交通省では、地方公共団体が地域づくりの一環として行うバスサービス等の自動運転に係る事業に対して補助を行っております。

本年は、令和6年4月5日から令和6年5月7日まで公募を実施し、地方公共団体から申請のあった事業のうち、99事業について事業対象として交付決定を行いましたのでお知らせいたします。国土交通省としては、本事業等を通じて、引き続き、自動運転の社会実装に向けて取り組んでまいります。

・交付決定を行った地方公共団体

別紙資料に記載のある地方公共団体

(問い合わせ先)
物流・自動車局技術・環境政策課 家邊・磯
代表：03-5253-8111 (内線 42255)
直通：03-5253-8592

別紙		
1 北海道帯広市	34 石川県小松市	67 大阪府四條畷市
2 北海道士幌町	35 福井県永平寺町	68 兵庫県養父市
3 北海道利尻富士町	36 福井県越前市	69 兵庫県三田市
4 北海道苫小牧市	37 山梨県富士吉田市	70 奈良県
5 北海道当別町	38 山梨県甲斐市	71 奈良県
6 北海道千歳市	39 長野県塩尻市	72 奈良県宇陀市
7 北海道網走市	40 岐阜県	73 和歌山県和歌山市
8 青森県	41 岐阜県岐阜市	74 鳥取県鳥取市
9 岩手県釜田市	42 岐阜県中津川市	75 島根県美郷町
10 宮城県仙台市	43 静岡県浜松市	76 岡山県備前市
11 秋田県上小阿仁村	44 静岡県静岡市	77 広島県東広島市
12 秋田県大館市	45 静岡県沼津市	78 広島県福山市
13 山形県長井市	46 愛知県	79 山口県
14 福島県田村市	47 愛知県日進市	80 徳島県那賀町
15 福島県磐梯町	48 愛知県安城市	81 香川県土庄町
16 茨城県日立市	49 愛知県小牧市	82 香川県三豊市
17 茨城県常陸太田市	50 愛知県岡崎市	83 香川県高松市
18 茨城県境町	51 愛知県常滑市	84 愛媛県松山市
19 栃木県	52 愛知県豊橋市	85 愛媛県伊予市
20 群馬県前橋市	53 愛知県春日井市	86 高知県
21 群馬県渋川市	54 愛知県名古屋市中区	87 福岡県北九州市
22 埼玉県深谷市	55 三重県多気町	88 福岡県宗像市
23 埼玉県和光市	56 三重県桑名市	89 佐賀県
24 千葉県横芝光町	57 三重県伊勢市	90 長崎県
25 千葉県松戸市	58 三重県明和町	91 熊本県熊本市
26 東京都	59 滋賀県	92 熊本県宇城市
27 東京都	60 京都府	93 大分県佐伯市
28 東京都大田区	61 京都府	94 宮崎県西都市
29 神奈川県川崎市	62 京都府宮津市	95 鹿児島県南さつま市
30 神奈川県平塚市	63 大阪府大阪市	96 沖縄県
31 新潟県弥彦村	64 大阪府大阪市	97 沖縄県豊見城市
32 新潟県佐渡市	65 大阪府大阪市	98 沖縄県石垣市
33 富山県富山市	66 大阪府河内長野市	99 沖縄県南城市

【沖縄県豊見城市レベル4モビリティ・地域コミッティキックオフ会議資料】

(資料一部抜粋)

令和6年8月30日(金)

4-2. 沖縄県豊見城市レベル4モビリティ・地域コミッティキックオフ会議について

(1) レベル4モビリティ・地域コミッティの設置・目的

レベル4自動運転サービスの現状

- 全国25年度の50カ所程度、27年度の100カ所以上サービス実装という目標達成に向けて、取組の加速が求められる
- そのためにも、各地域の受容性の向上と、透明性と公平性を確保しつつ許可等の手続きを迅速に進める必要がある

2023年

2025年

2027年

■ 事業実施中
■ 今後検討



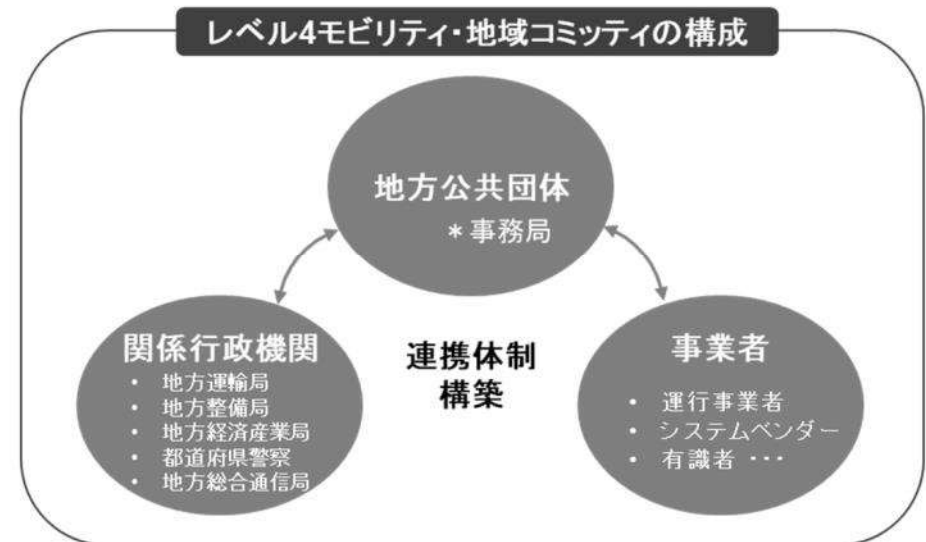
全国都道府県
L4サービス実装箇所

出典: 23年12月20日 デジタル行財政改革会議(第3回)
資料3 国土交通大臣提出資料

レベル4モビリティ・地域コミッティの目的

- 地域コミッティは、地方公共団体・関係行政機関・事業者による綿密な連携体制を構築することで、地域の受容性醸成を図りつつ手続の透明性・公平性を確保し、各地のレベル4自動運転サービスの実現を加速する

レベル4モビリティ・地域コミッティの構成



4-2. 沖縄県豊見城市レベル4モビリティ・地域コミッティキックオフ会議について

(2) 自動運転社会実証推進事業を参画する企業概要

- 豊見城市は、令和6年5月27日に自動運転バスに関する包括連携協定を締結、2024年度の実証開始を目指す

企業名	本社	企業概要
第一交通産業株式会社 (株式会社琉球バス交通)	福岡県北九州市	- タクシー会社を全国で展開し、バス・不動産事業も手掛け、グループでは全営業車両数8,893台(2024年3月末時点)を保有する - 路線バス事業は沖縄県のみで展開し、運営はグループ会社の株式会社琉球バス交通が担う
株式会社電腦交通	徳島県徳島市	- タクシー事業者様向けに、経営改革や業務効率化を実現するサービスや、配車業務の負担を軽減するサービスを提供する - 自治体や民間企業様向けに、デマンド交通や乗合サービスなど、地域公共交通を支える管理システムの開発・提供サービスを展開する
株式会社ティアフォー	愛知県名古屋市	- 自動運転ソフトウェアのAutowareをベースにしたオペレーティング・システム Pilot.Autoや、自動運転モビリティの開発を行う - 昨年度は自動運転の実証走行として6,000km以上の経験があり、長野県塩尻市ではレベル4許可取得に向けた活動を推進する
日本電気株式会社	東京都港区	ITサービス事業や社会インフラ事業を中心に、公官庁や製造業など幅広いソリューション提供する

4-2. 沖縄県豊見城市レベル4 モビリティ・地域コミッティキックオフ会議について

(3) 地域コミッティの運営体制・構成員

地域コミッティの構成員・役割は下記の通りです。

	地域コミッティ構成員	自動運転移動サービス実装における役割	氏名(所属または企業名、役職)
主宰者	沖縄県豊見城市	レベル4自動運転の社会実装に向けた 全体統括	嘉川 聡子(豊見城市 都市計画部長)
必須構成員	内閣府沖縄総合事務局運輸部	レベル4車両認可に向けたサポート	伊志嶺 友浩(車両安全課長) 亀谷 匡哉(企画室長)
	内閣府沖縄総合事務局 開発建設部	走行環境整備に係るサポート	伊藝 誠一郎(南部国道事務所 副所長)
	内閣府沖縄総合事務局 経済産業部	モビリティ産業・地域経済活性化に係るサポート	知念 修(地域経済課長)
	沖縄県警本部交通部	特定自動運行許可・道路使用許可に係るサポート	眞栄城嘉世(沖縄県警察本部交通部 交通企画課長) 福盛義夫(豊見城警察署 交通課長)
	運行主体 第一交通産業株式会社	運行に係る事項の検討・推進	鹿毛建造(株式会社琉球バス交通 取締役副社長) ※第一交通産業グループ
任意構成員	沖縄県企画部	県内の交通政策のとりまとめ	平良 秀春(交通政策課長)
	沖縄県南部土木事務所	県道の道路管理者、許認可に係るサポート	大山 豪(技術総括)
	関係事業者(自動運転システムベンダー)	自動運転システムの提供	室田 徹也(日本電気株式会社 ディレクター)
	関係事業者(交通システムベンダー)	遠隔監視に関する仕組みの検討	滝川 浩司(株式会社電脳交通 事業開発部長)
	関係事業者(自動運転車両提供者)	自動運転車両および自動運転システムの提供	岡崎 慎一郎(株式会社ティアフォー VICE PRESIDENT)

4-2. 沖縄県豊見城市レベル4モビリティ・地域コミッティキックオフ会議について

(4) レベル4モビリティ・地域コミッティの設置・目的

- 生活路線バスとして定時・定路線で運行している豊見城市内一周バス(105番線)の路線の一部を自動運転に置き換える。
- まずは、2025年度に「豊崎美らSUNビーチ前～翁長北」の直線部分をレベル4で走行することを目指した実証実験を2024年度から実施する。

■ 事業実施の背景・目的・目標

- ・ 解決を目指す地域課題として「豊見城市交通基本計画」の中で日常生活の移動における課題をあげている。
- ・ そこで、地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用し、持続可能で安全・安心な自動運転バスの実現をすることを目指す。

課題1: マイカー依存による交通渋滞慢性化

課題2: 公共交通の定時性・速達性および利便性低下

課題3: 少子高齢化に伴う運転手不足

「豊見城市交通基本計画」に記載の”豊見城市が目指す将来像・基本方針”を、自動運転技術・サービスの手段も活用し、実現する。

- ・ 安全・安心で誰もが使いやすい交通

自動運転バスを含め、長期的な目線で地元住民に安心して乗車いただけるような公共交通ネットワークの形成する。

- ・ 誰もが使いやすい公共交通ネットワークの形成

自動運転車両を導入し、持続的に運行することで、誰もが利用しやすい交通環境の充実を図る。

豊見城市交通基本計画(抜粋)

3つの将来像	4つの基本方針
将来像2. 安全・安心でだれもが使いやすい交通	基本方針2. 誰もが使いやすい公共交通ネットワークの形成
誰もが安全・安心して生活でき、市民の日々の快適な暮らしを支え、様々な災害や危険から市民を守るまちづくりに貢献する交通まちづくりを推進します。	シームレスな公共交通ネットワークを形成し、持続可能なサービスが提供できるような仕組み作りを行い、誰もが使いやすい公共交通ネットワークを形成します。

自動運転バスの導入による最終目標・構想イメージ

- ・ 自動運転バスの走行エリア拡大による、さらなる利便性向上、自動運転バスを活用しながら、将来的には、市東部地域への移動ニーズに応える。
- ・ 将来的には自動運転バスも視野にいれながら市内5か所(豊見城市役所、豊崎、真玉橋、豊見城IC、名嘉地)を交通結節点に位置づけ整備を行う。
- ・ 自動運転バスに根ざした移動のみならず、多様な交通手段を有機的に接続する。

4-2. 沖縄県豊見城市レベル4 モビリティ・地域コミッティキックオフ会議について

(5) 取組概要ロードマップ

L4自動運転移動サービス実装に向けたロードマップ

2025年以降は変更が生じる可能性がある

年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
運行台数	1	1	1	1	1
運行エリア	豊見城市	豊見城市	豊見城市	豊見城市	豊見城市・那覇市
運行方式	定時定路	定時定路	定時定路	定時定路	定時定路
レベル4運行	-	○	○	○	○
運賃	無償	無償	有償	有償	有償
運転手	有	有	有	有	有
保安員	有	有	有	なし	なし
遠隔監視員	有	有	有	有	有
遠隔監視体制	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1
許認可取得	調整状況 ・～2025年度1Q: 走行環境定義(含む公道走行WG準備) ・2025年度1～2Q: 第1回公道走行WG				・～2025年度3Q: WGでの指摘事項対応および評価 ・2025年度4Q: 申請・認可取得

4-2. 沖縄県豊見城市レベル4 モビリティ・地域コミッティキックオフ会議について

(6) 今年度の具体的な実証スケジュール

大項目	小項目	24年										25年			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1.体制構築	交付申請書準備			▼採択結果通知(6月6日) ●レ▼交付決定書受領(7月3日)											
	包括連携協定締結		●レ▼締結(5月27日)												
2.運行準備	運行ルート策定			●レ											
	地図ルート制作			→											
	リスクアセスメント			現地調査(7月25日) ▼		▼調査結果レポート受領(8月30日) 評価・対策(9月1～22日)									
	アンケート作成&PR														
3.運行実施	プレ走行						チューニング(9月23日～10月6日) →								
	自動運転走行実施						▼出発式(10月7日) ▼とみぐすく祭り(10月19,20日) 実証(10月8日～10月31日) →								
4.結果取りまとめ	検証結果まとめ			→											
5.成果報告	報告書作成・準備			月度報告書(7～1月度、翌月5営業日以内) 補助金中間検査資料提出(11月29日) ▼ 実績報告書提出 ▼ 補助金確定検査資料提出①②(2月14,28日) ▼ リスクアセスメント結果報告書提出(9月23日) ▼ 中長期収支計画書、最終報告書提出(2月7日) ▼ →											
許認可取得		調整状況 ・～2025年度1Q: 走行環境定義(含む公道走行WG 準備) ・2025年度1～2Q: 第1回公道走行WG ・～2025年度3Q: WGでの指摘事項対応および評価 ・2025年度4Q: 申請・認可取得													

(7) 事業概要

9. 実証実験概要(沖縄県豊見城市)

○ 生活路線バスとして定時・定路線で運行している豊見城市内一周線バス(105番線)の路線(約28.2km)の一部を自動運転に置き換え、まずは2025年度に「豊崎美らSUNビーチ前～翁長北」の直線部分をレベル4で走行することを目指した実証実験を2024年度から実施する。

■ 車両

「TIER IV Minibus」

- ・定員(運転手含):23名(自動運転時16名)
- ・最高速度:70km/h(自動運転時35km/h)
- ・操作系:通常のハンドル(車内緊急停止ボタンによる停止可能)
- ・台数:1台



■ 体制

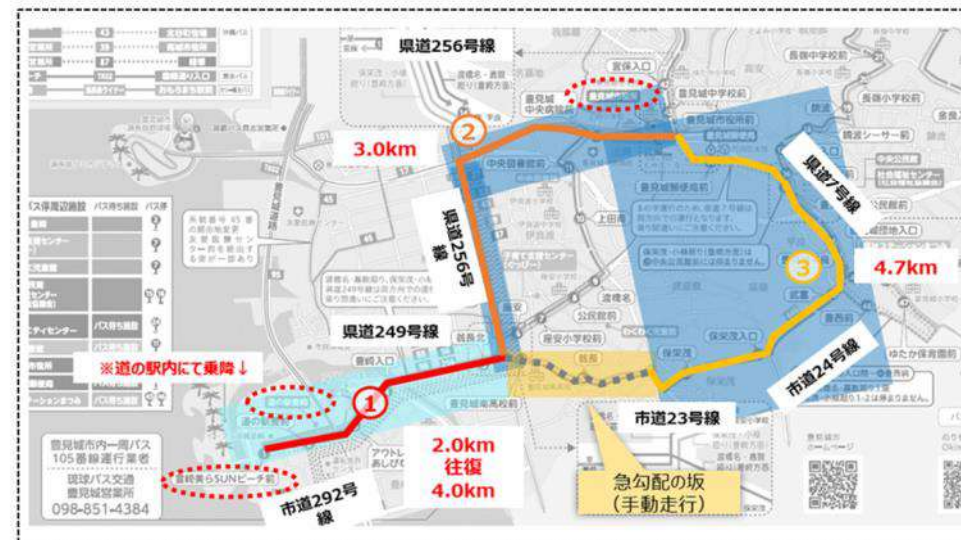
- ・ベンダー:株式会社ティアフォー
- ・運行主体:株式会社琉球バス交通
- ・運転手:車内/遠隔操作なし
- ・保安員:有(1名)
- ・遠隔監視:有(2名)

■ 事業の特徴

- ・豊見城市周辺におけるバス・タクシーへの自動運転車両導入によるドライバー不足と地域移動課題の解決を目指すことを目的として、2024年5月27日に5者間(豊見城市・第一交通産業株式会社・株式会社電腦交通・株式会社ティアフォー・日本電気株式会社)で包括連携協定締結。

■ 運行ルート・運行期間/運行形式

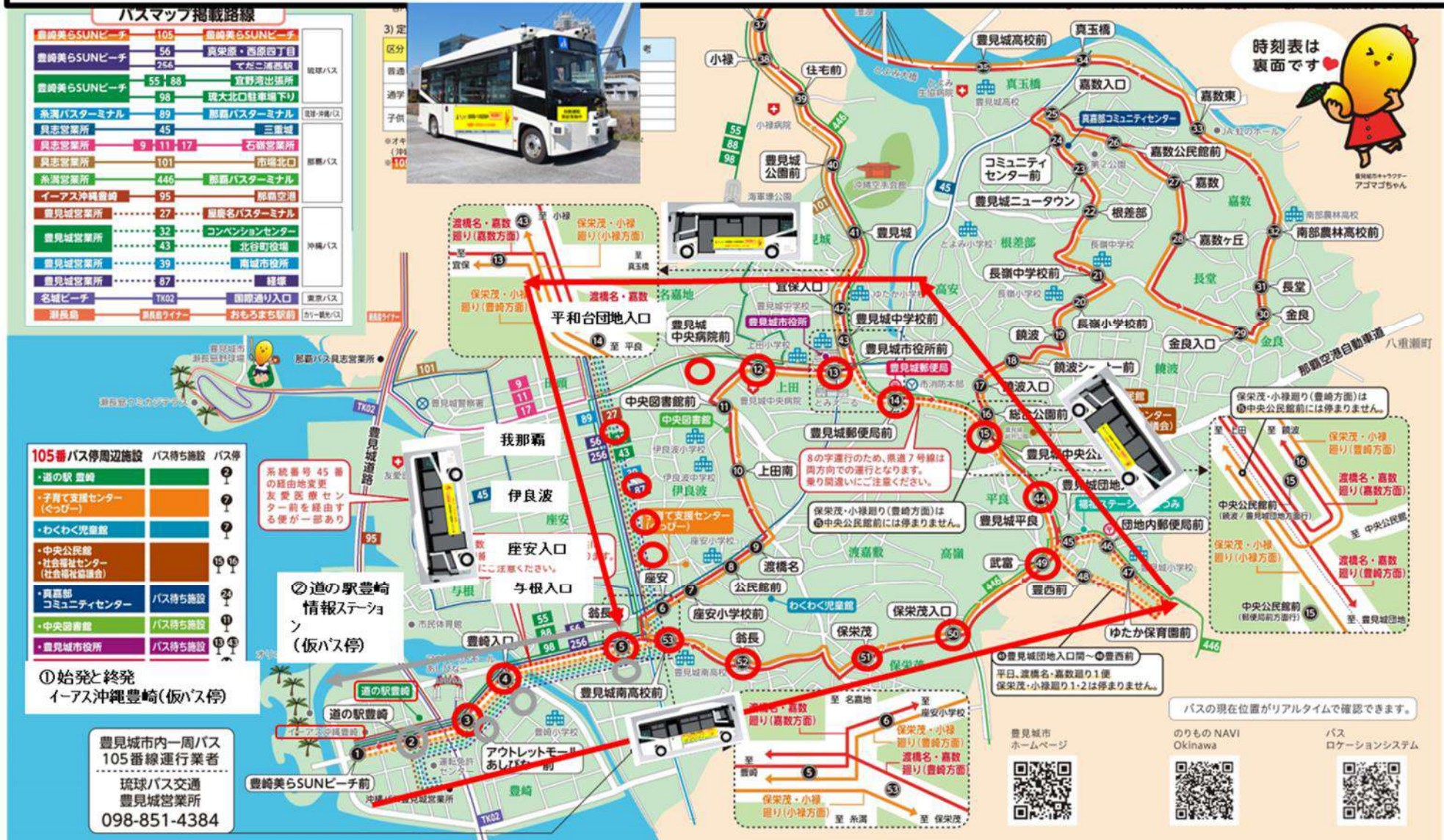
運行距離 11.7km(左回り)



4-3. 実証運行ルートについて

【実証運行ルート】約11.7km（バス停：25箇所）

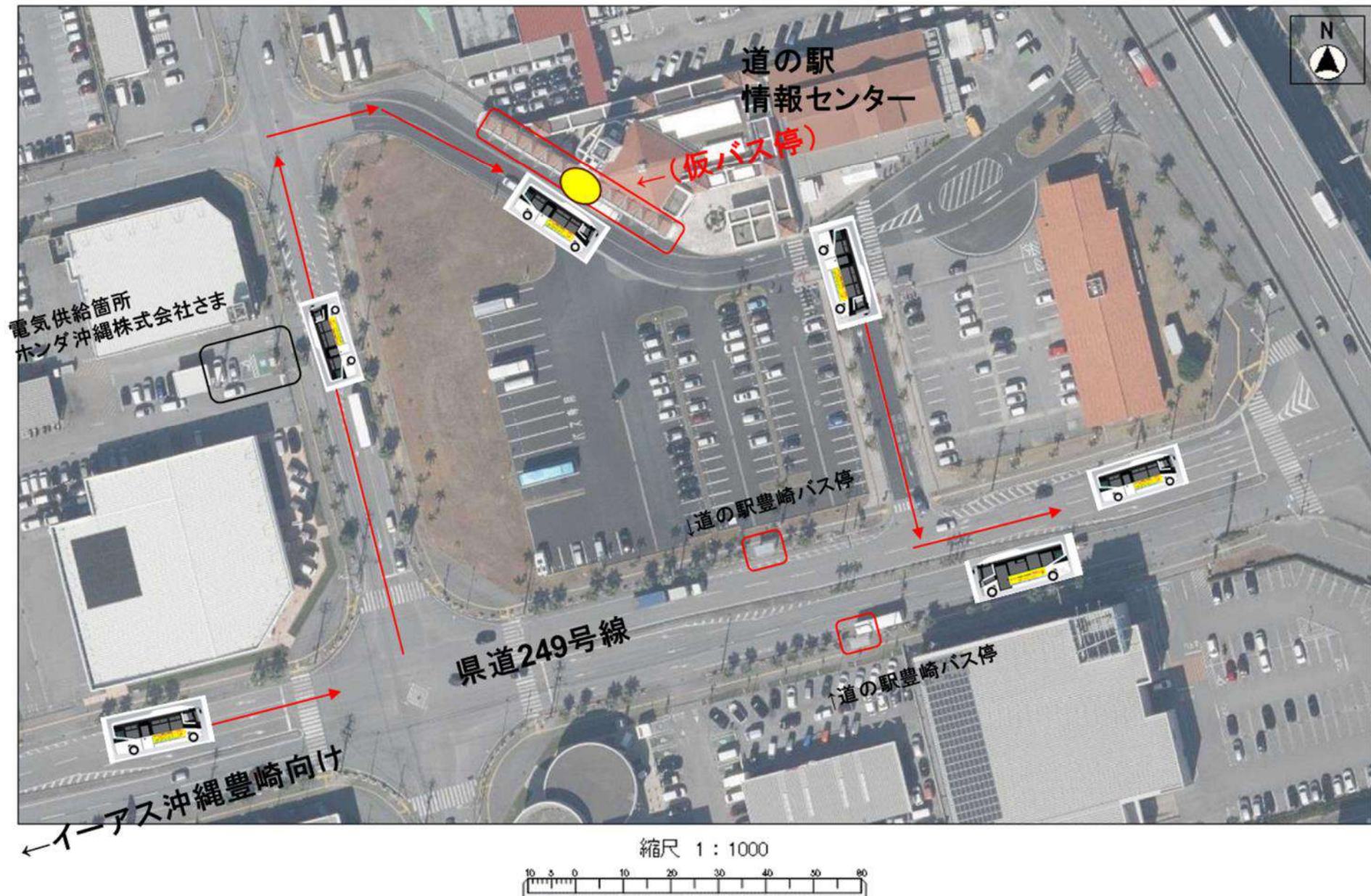
（始発）イース沖縄豊崎 → 道の駅豊崎 → 翁長 → 保栄茂 → 平良 → 郵便局前 → 市役所前 → 名嘉地 → 伊良波 → 座安 → あしびなー前 → イース沖縄豊崎（終着）
（各バス停（25箇所）で乗車できます！）運賃無料！



NO.1バス停名：イーアス沖縄豊崎(始発・終着)



NO.2バス停名：道の駅豊崎（豊崎入口バス停向け）



実証運行ルート及びとみぐすく祭り・産業フェスタ試乗会ルート

(試乗会ルート(10月19日(土)、20日(日)):イーアス→市道292号線→市道291号線→市道256号線→市道292→イーアス)



始発・終発バス乗降場所①(NO.1バス停名: イーアス沖縄豊崎内)

